

## 【研修No.360】災害支援ナース養成研修 募集要項

本研修は、法律に基づき厚生労働大臣が実施する研修を、日本看護協会が厚生労働省から委託を受けて実施するものである

### 1. 目的

- ・災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する
- ・派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する

### 2. 研修日時

オンデマンド研修：令和8年10月5日(月)～令和8年12月10日(木) 期間中に受講

集合研修【災害】：令和8年12月15日(火) 9:30～16:30(予定)

【感染症】：令和8年12月16日(水) 10:00～16:30 (予定)

### 3. 集合研修会場

京都府看護協会研修センター 〒606-8011 京都市左京区高野泉町40-5

### 4. 対象

災害・感染症に係る派遣対応看護職員を目指す者で、都道府県行政への情報提供および「災害・感染症医療業務従事者」への登録に同意する者

5. 定員：70名 ※申込が定員を超えた場合は、京都府と協議の上決定いたします

6. 申込方法：WEB申込+様式1 郵送にて提出

7. 申込期間：令和8年9月1日(火)～9月14日(月)

8. 提出書類：専用の申込用紙(様式1)

### 9. 提出先

〒606-8111 京都市左京区高野泉町40-5 京都府看護協会「災害支援ナース養成研修」

10. 受講料：無料

11. 修了証：オンデマンド研修20時間の修了と演習10時間を全て修了した者に対し、研修修了証を発行する

12. プログラム概要 集合研修の詳細は 13.演習プログラム参照

オンデマンド研修		講義(合計 20 時間)	
A	総論	2 時間	災害・感染症に係る派遣の対応
B	災害各論	9 時間	災害医療の基礎知識、災害時に求められる看護支援活動 災害時の心理的变化とこころのケア、災害時の看護職の活動事例 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)について
C	感染症各論	9 時間	新興・再興感染症の基礎知識 災害支援ナースが知っておきたい感染症 呼吸器感染症患者の看護(軽～中等症) 災害時の感染症対策

集合研修(演習)		2 日間	
1 日目	災害	講義：京都府における災害・感染症に係る派遣時の看護支援活動 演習：災害時の看護職の活動の実際	
2 日目	感染症	演習：感染拡大時の看護職の感染症対策 災害時の感染症対策	

\*研修前に厚生労働省へ名簿(申込内容)の提出、研修終了後に日本看護協会ならびに京都府に修了者として報告、「災害・感染症医療業務従事者」への登録、EMIS(広域災害救急医療情報システム)への登録を行いますのでご了承ください。

### 13. 演習プログラム

1 日目：令和 8 年 12 月 15 日(火)

演習：災害時の看護職の活動の実際

時間	プログラム	ねらい	講師
9:30～10:30(60)	京都府における災害・感染症に係る派遣時の看護支援活動	・災害時および感染症の発生・まん延時の看護職の活動の実際を想定することができる	坂本 琢哉 京都府 医療課 地域医療係 石倉 章男 感染症予防・対策課
10:30～10:40(10)	休憩		演習指導者
10:40～10:50(10)	オリエンテーション		
10:50～11:40 (50)	災害時の看護職の活動の実際 1)派遣決定から出発までの準備 【演習 1】 派遣決定から出発までの準備(情報収集の内容と手段、派遣要請時の職場や家庭の調整、派遣に係る確認事項と準備、携行品)	・災害時の看護職の活動の実際を想定することができる ・災害時に看護職として活動する際の基本的な心構えがわかる	都道府県看護協会が開催した旧災害支援ナースに対する研修において演習指導者を務めた経験がある者 倉本 真智子 洛和会音羽リハビリテーション病院
(60)	2)災害医療対応の原則 【演習 2】 災害医療対応の原則(支援者としての心構え、災害医療対応の原則、活動場所の違いによる活動の特徴(医療機関、避難所))	・災害時の看護職の活動の展開と展開にあたっての留意事項がわかる	寺崎 昌美 京都市立病院
(50)	3)方針に沿った活動 【演習 3】 発災後 3 日目に避難所に派遣された場合(活動方針の考え方、受診等が必要な場合の対応)		谷口 淨 京丹後市立久美浜病院 企画・指導者研修災害編 修了者 村田 智春 京都山城総合医療センター
(50)	【演習 4】 発災後 1 週間目に避難所に派遣された場合(他職種、他機関との連携、新たな活動を依頼された場合の対応)		町 綾夏 京都九条病院
(50)	【演習 5】 発災後 1 か月後に避難所に派遣された場合(活動終了に向けて行うこと、報告と記録、帰還後に行うこと)		
(10) ～16:30	まとめ		

2日目：令和8年12月16日(水)：新型コロナなど新興感染症患者の看護

時間	プログラム	ねらい	演習指導者
10:00～10:10	オリエンテーション		
(50)	<b>感染拡大時の感染症対策</b> 1)感染拡大・重症化の予防	感染拡大や重症化予防に向け医療機関やそれ以外の施設の特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ	<b>村上 あおい</b> 京都市立病院 看護部長 感染管理認定看護師  <b>藤井 一美</b> 京都市立京北病院 感染管理認定看護師  <b>赤井 寿美子</b> 洛西ニュータウン病院 感染管理認定看護師  <b>槇憲一郎</b> 医仁会武田総合病院 感染管理認定看護師  <b>牧野みち子</b> 京丹後市立久美浜病院 感染管理認定看護師  <b>植岡 敬紹</b> 京都第二赤十字病院 急性・重症患者看護専門看護師
(40)	2)ケア実施における感染対策		
(40)	3)派遣先スタッフとの協働による医療提供		
(30)	<b>災害時の感染症対策</b> 1)多職種との連携 2)感染拡大の予防	感染拡大予防に向け、避難所を想定とした感染対策を学ぶ	<b>村上 あおい</b> 京都市立病院 看護部長 感染管理認定看護師
(55)			
(45)			
(10)～16:30	6)まとめ		<b>村上 あおい</b> 京都市立病院 看護部長 感染管理認定看護師
16:30～	閉会		